

特別展

元時代の名品から近代の巨匠まで 大原家ゆかりの中国絵画コレクション

倉敷大原家と中国絵画



Special Exhibition:
The Ohara Family of Kurashiki and Chinese Paintings

2026 4/25 Sat → 6/7 Sun

休館日/月曜日 ※ただし、4月27日(月)、5月4日(月・祝)は開館

会場/大原美術館 本館(岡山県倉敷市中央1-1-15)

主催/公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・大原美術館

後援/大原美術館後援会



大原美術館

《謙受堂雅集図》 胡鉄梅筆 個人蔵 部分

倉敷大原家と中国絵画

Special Exhibition:
The Ohara Family of Kurashiki
and Chinese Paintings

元時代の名品から近代の巨匠まで大原家ゆかりの中国絵画コレクション

2026
4/25 Sat 6/7 Sun

休館日/月曜日 ただし、4月27日(月)、5月4日(月・祝)は開館
開館時間/9:00~17:00(16:30入館締切)

会場/大原美術館 本館
入館料/一般:2,000円、
小学生・中学生・高校生または18歳未満:500円、未就学児:無料
※大原美術館入館券(本館、工芸・東洋館、児島虎次郎記念館 共通)にてご覧頂けます。
※各種優待制度がございます。
主催/公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・大原美術館
後援/大原美術館後援会

詳細はこちら/Scan for details



記念シンポジウム

□開催日/2026年5月9日(土) □会場/倉敷国際ホテル 桜花の間
※詳細およびお申し込み方法はホームページでご案内いたします。

関連
イベント
Events

テーマ展示 | 児島虎次郎と中国

□会期/2026年4月25日(土)~6月7日(日)
□会場/児島虎次郎記念館

白壁の町並みが古の風情を今に伝える町、倉敷。江戸時代以来、備中地域の政治・経済の拠点として栄え、天領として自治の気風を育んだこの町を代表する商家のひとつが大原家です。本展では、大原家の六代目孝四郎(1833-1910)、七代目孫三郎(1880-1943)、八代目總一郎(1909-1968)を中心に、大原家代々が収集し愛賞した中国絵画をご紹介します。室町將軍家ゆかりの名品として名高い《宮女図》(国宝)をはじめ、開国間もない日本で練り広げられた清人画家と町衆との交流を生き活きと伝える《謙受堂雅集図》、中国最後の文人といわれ、日中文化交流に大きな役割を果たした呉昌碩による作品群など、元時代より近代に至るまで、我が国屈指の名品から倉敷の歴史を物語る逸品まで、国宝、重要文化財、初公開を含む29件の作品により、大原家と中国絵画との関わりを紐解きます。

第一章 Chapter 1



【初公開】《謙受堂雅集図》 胡鉄梅筆 清時代 1885年 個人蔵

大原家の中国絵画 古渡、中渡、新渡と来舶画人

古くから日本人に愛され、大切にされてきた中国絵画。それらは、日本にもたらされた時期によって「古渡(中世)」「中渡(近世)」「新渡(近現代)」に区分され、それぞれ作品の傾向も異なっています。第一章では、室町將軍家に愛蔵された名品から、明治の日本を訪れた清人画家の作品まで、大原家による中国絵画コレクションを通して、日本人が中国絵画へ注いだ眼差しの変化をたどります。



【国宝】《宮女図》「銭選」印
元時代 13-14世紀
個人蔵(京都国立博物館寄託)
※展示期間:5月9日~6月7日



【初公開】《栗鼠図》「用田」印
元時代 14世紀 個人蔵



《牡丹図》 呉昌碩筆 近代 1915年 個人蔵

第二章 Chapter 2

大原孫三郎と 呉昌碩コレクション

大原孫三郎とともに大原美術館の礎を築いた洋画家児島虎次郎(1881-1929)。児島は長くヨーロッパに滞在し西洋文化に通じる一方、中国の古文化を深く敬愛し、4度にわたる中国滞在を果たしました。孫三郎は、「中国最後の文人」と称される呉昌碩の作品を多数所蔵していましたが、それらは全て、児島が中国訪問時に呉昌碩本人やその周辺の人々を訪ねて買い求めたものです。第二章では、大原美術館の名画を収集したことで知られる児島が、その眼で選り取った呉昌碩作品コレクションを展示。その特別な輝きをお楽しみ頂きます。

プロローグ Prologue

大原家の 古画コレクション

大原美術館を設立したことで知られる大原孫三郎は、東洋古美術の一大コレクターとして名を馳せた人物でもありました。プロローグでは、雪舟等楊《山水図》(国宝)など孫三郎収集の名品を中心に、中国絵画収集の前提ともいえる大原家の古画コレクションをご紹介します。大原家代々に受け継がれた文化的血脈を確認します。

第三章 Chapter 3



《五牛図巻》 韓滉(歿) 大原芸術財団 大原美術館蔵

大原總一郎と大原美術館の中国絵画

戦後の大原美術館を率い、発展させた大原總一郎。第三章では、總一郎が描いた美術館構想のもとに、大原美術館に収蔵された中国絵画をご紹介します。本章の目玉、宋~元時代の名品として知られた《五牛図巻》は、十数年ぶり、かつ、修復後初の公開となります。2カ年にわたる本格的修復事業を通して得られた新たな知見は、今後の中国絵画研究に重要な一石を投じることでしよう。



【国宝】《山水図》 雪舟等楊筆
室町時代 16世紀
個人蔵(京都国立博物館寄託)
※展示期間:4月25日~5月24日



大原美術館 | <https://www.ohara.or.jp>



お問い合わせ
公益財団法人大原芸術財団
〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15
TEL 086-422-0005
<https://www.ohara.or.jp>

電車をご利用して来館の場合
□東京方面から|JR山陽新幹線・岡山駅 → JR山陽本線・倉敷駅 → 徒歩約15分(倉敷美観地区)
□広島方面から|JR山陽新幹線・新倉敷駅 → JR山陽本線・倉敷駅 → 徒歩約15分(倉敷美観地区)

車をご利用して来館の場合
□東京・広島方面から|山陽自動車道 → 倉敷IC → 約20分(倉敷美観地区)
□四国方面から|瀬戸中央自動車道 → 早島IC → 約20分(倉敷美観地区)
※大原美術館には駐車場がございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。





特別展

元時代の名品から近代の巨匠まで 大原家ゆかりの中国絵画コレクション

倉敷大原家と中国絵画

Special Exhibition:
The Ohara Family of Kurashiki and Chinese Paintings

2026 4/25 Sat → 6/7 Sun

休館日/月曜日 ※ただし、4月27日(月)、5月4日(月・祝)は開館
会場/大原美術館 本館(岡山県倉敷市中央1-1-15)
主催/公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・大原美術館
後援/大原美術館後援会



大原美術館

《牡丹図》 吳昌碩筆 個人蔵 部分